

昭和52年 5月25日 第3種郵便物認可 令和2年 4月10日発行 (毎月1回10日発行)



世界の円満
人類の福祉

THE ENPUKU

4月

2020 No.475



世界法民連帯 円福友の会

円福友の会入会のすすめ

1食1円のSABA運動で世界の平和に尽くしましょう。

SABAとは、禅寺の僧堂でお食事の前に、七粒ほどのご飯をお膳のすみに取っておき、後で小鳥に施す「生飯(さば)」というお作法のことです。

これを日本の皆さんの1食1円のSABAとして、アジアの貧しい国々の子ども達のために学校建築(教育)や、井戸やトイレの設置(環境衛生向上)を支援する、国際ボランティア資金の運動です。1食1円ならどなたにもできます。塵も積もれば山となるように、皆さんの御協力をお願いする大きな愛の運動です。(この運動は、特定の政党や宗教や思想に関係のない、非営利の国民運動です。)

綴じ込みの郵便振替用紙を使い年会費やSABA運動等の協力金をお送りください。お送りいただいた皆様には毎月『圓福』と『おもいやり』をお送りし、円福友の会の活動と円福寺愛育園の子どもたちの様子をご報告いたします。

表紙の写真

井戸にモーターポンプをつけて、水を高所にあるタンクに汲み上げます。その水を青いパイプで配管します。

そこから水道のように水が出て、給水が楽になります。

円福友の会寄贈井戸を使って、地元の人が改良したものです。

地元の人々の力で学校農園が改善改良されていて嬉しいです。

4月号の内容

にこにこ法話 裾花の薫	1 p
カンボジア支援 ドンソン小学校トイレ建設	6 p
エコ村支援 ナチュラル小学校からの便り その6	9 p
教育随想 長野高校 (1)	13 p
敬愛信	15 p



先日届いた「ながの保護だより」第571号（3月号）の巻頭に長野刑務所長さまのご高文が掲載されていて、その中に「裾花

の薫」の逸話のお話がありました。

父の「おっしゃんの茶話」（ぼんたか）

106pに「春の淡

雪」と題してこのお

話が載っています。

少し長くなりますが紹介いたします。

裾花の薫

和二十三年のことでした。今は須坂に移転した長野刑務所が長野市旭町の勤労者福祉センターの敷地にあった当時、私は刑務所の教誨師をつとめていたのです。

「皆さん、この世の罪も過ちも、今朝の雪はみんな美しく^{きよ}浄めてくれましたね。もう、善だとか悪だとか、今さらみなさんにお説教しても始まりません。日

本の国も恐ろしい戦争をやって負けたんです。皆さんと一緒に

にこの日本を立て直して、今朝の雪景色のようにこの世を永遠平和の浄土にしようではありませんか。今朝はお説教なんかやめて、私の作詞作曲の『春の^{あわゆき}淡雪』をみんなで歌おうではありませんか」と申しました。

実は刑務所では歌を歌ってはいけないということをおは知らなかったのです。けれど「知らぬが仏」で、私は静か

その朝、夜のうちに降った雪がやんで、長野刑務所の庭も屋根も、そして越すことのできない高い塀の上にも真っ白な雪が積もって、この世は寂光の浄土と化していました。刑務所の講堂にぎっしり並んでいる千人余りの受刑者を前にして、私は壇上に登りました。終戦間もない昭

ニコニコ法話

に、そしてしみじみと歌い始めました。

この歌は私が中国東北部の戦線から復員し、病の床にあつて心がいら立ち、軍人のときと同じ口調で「オレのめし早くもってこい」と老いた母をどなりつけたり、お尻の始末まで母にしてもらつて、用が終わると軍隊式に「終わりっ」といつて母を驚かせていたときのことです。母が、私の布団をかけ直してそつと隅々をおさえながら、「もう軍隊式の『オレ』はやめたほうがいいよ。坊さんなんだから『わたくし』といつておくれ」といつて私をたしなめてくれました。そんな、私の心が荒れていたとき、思わぬ春の雪が降り積もつた朝に、私が病床でつくつた童謡なのです。

春の淡雪降りました

きれいなきれいな綿布団

みんなにかけてやりました

春の淡雪降りました

私の好きな母様の

こころのような春の雪

春の淡雪降りました

小さい時に母様に

抱かれたことを思います

春の淡雪降りました

春のお花はその下に

そつと眠っているのです

春の淡雪消えました

おめめがさめた福寿草

笑つて咲いておりました

ニコニコ法話

春の淡雪

藤本新 作詞・作曲



この童謡を、私は受刑者と一緒に繰り返し繰り返し歌ったのです。そして「雪が消えればもう、すぐに春がくるよ。今は敗戦日本けれど、この雪の下に春の花が眠っているのさ。今、皆さんは受刑者の身でも、雪が融けて刑が終われば、美しい人生の花を咲かすことができるのさ」、そういつて歌うほどに、受刑者たちはみんな涙を流して歌いました。そして、私の教誨が終わったとき、中に声をあげて泣いた受刑者が何人もいました。その時の所長は看守から所長になった菊池信之丞という温情の所長でしたから、刑務所の規則を知らなかった私に「歌もいいもんですなあ」といつて許してくれました。

春がきて、私は刑務所へ花を贈る運動を始めました。「おつしやん、泥棒や強盗に花を持つていつてやるんですか」「いや、みなさん、自分の親や兄弟や夫が刑

ニコニコ法話

を受ければ差し入れをするでしょう。受刑者だってみんな日本人です。花の本くらい差し入れてやろうではありませんか」といつて呼びかけ、婦人会や青年団が私の願いを聞いてくれて花を贈ってくれました。受刑者たちの監房の竹筒の一輪の花が、どんなに受刑者の心を和ませたか知れませんでした。

そしてその秋の九月、台風の豪雨で裾花川の堤防は決壊し、渦巻く濁流は家も畑も押し流しました。ときの長野市の松橋久左衛門市長や県知事は策に窮し、その堤防決壊場所の復旧を長野刑務所に依頼しました。まだ自衛隊もないころでした。菊池所長は意を決して、受刑者たちに「お前たちが罪の贖いをするときはこのときだ。花を贈ってくれた人々の温情に報いるときはこのときだ」といい聞かせ、八百人も受刑者を出動させたのでした。受刑者たちは秋寒い濁流

に飛び込んで杭を打つ者、土のうをつくる者運ぶ者、必死になつて働きましたが、濁流は止まらず、交代の徹夜工事となりました。ついに四日四晩かかって、さしもの濁流もおさまり堤防も復旧して、ようやく流れが犀川に注ぐようになったのでした。

さてこの四日四晩の工事の間に、逃亡した受刑者は何人だったでしょう。五十人くらいは仕方がないと所長は腹を決めていたそうですが、三十人くらいですんだでしょうか。それとも、十人五人くらいですんだでしょうか。

いいえ、ただの一人も逃げなかったのです。日本の刑務所の歴史に残る、奇蹟の偉業でした。

この偉業の記念に建てられた「裾花の薫の碑」の除幕式は、高松宮殿下のご台臨のもと、菊池所長の異例の許可で、受刑者の楽団演奏による「春の淡雪」



ニコニコ法話



の曲で除幕されました。そして、窃盗、詐欺、強盗、恐喝、婦女暴行などの犯罪で刑に服している受刑者に松橋市長が感謝の言葉を述べ、受刑者の代表に大きな花束が贈られました。

歳月過ぎた後、「裾花の薫の碑」は長野地方法務局のかげに、ひっそりと建っていました。

その後、この碑は昭和六十一年十月、須坂市の長野刑務所正面入り口に移転され、その心を今に伝えているとのこと。〔信濃毎日新聞〕平成元年二月二十二日掲載）



カンボジア支援

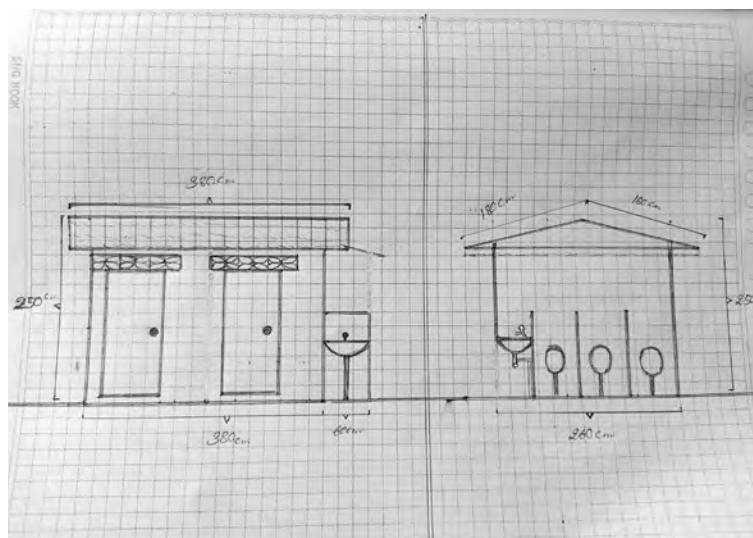
ドンソン小学校トイレ建設

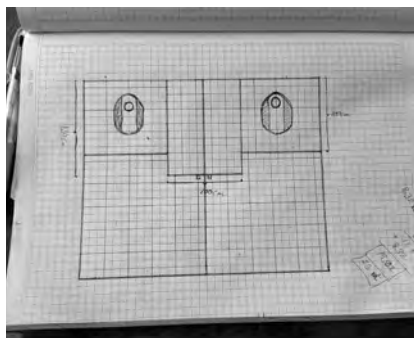
学校のトイレはとっても大切です。

ドンソン小学校にはトイレがありませんが、古くて使えないところもあり、学校の要望を受けて、キムさんに設計してもらいました。見積もりを取って、改築の予定です。

キムさんの設計図を掲載します。

図面に男性小用のトイレがついているのに驚きました。





カンボジアのトイレは、上のようになっていきます。これは上から見た図です。人は和式のように座って用を足します。真ん中にあるのは水のタンクで、この中の水をプラスチックのひしゃくで組んで、お尻などを洗います。紙は使いません。一般に、男性小用のトイレはないのです。

平成21年に初めてカンボジアを訪問した時にSVA（シャンティ国際ボランティア会）のカンボジア事務局長の職にあり大変お世話になった磯部氏は、今は独立してカンボジアで金融業を営んでいます。彼が日本のライオ

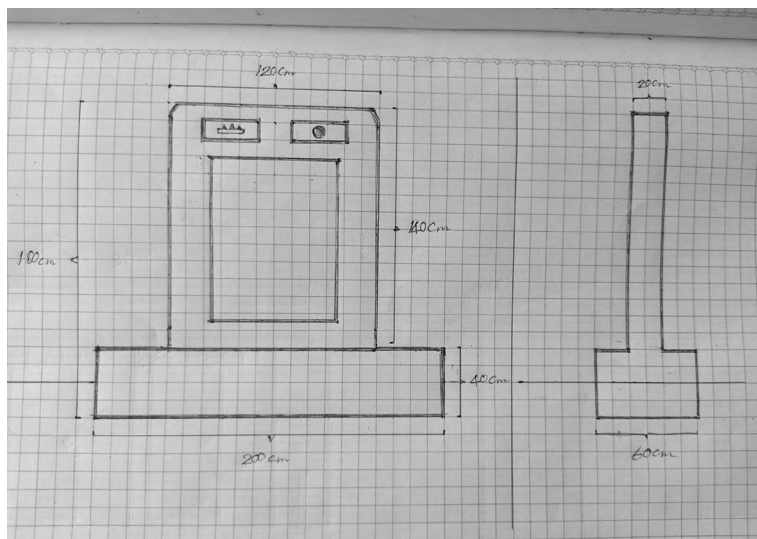
ンズクラブと協力して、学校に男性小用トイレを寄贈したことがあります。その理由は、男性小用のトイレを作ると男の子が小用を別にしますから、女の子や女性の先生が助かるのです。なるほどと思いました。学校にトイレがないと、衛生面が悪いばかりか、先生が来てくれないのでした。

キムさんは、学校に必要なことをよく考えてくれています。えらいなあと思います。

日本語ガイドのキムさんがどうしてこのような設計図を描けるのか聞いてみました。例えば屋根の寸法も、傾斜を考えて正しくとっているのです。

キムさんの答えは次の通りでした。

図面を書くのは私がタイで仕事をしている間に習いました、その時家の図面の分かる人と知り合って 彼に教えてもらいました。そして2007年に近畿大学が水上生活する



人の家を調査するため私は通訳をしました
その時水上の家の図面と寸法を書くのをお手
伝いしました その時のおかげでちよつとな
れて来ました。

キムさんは、一度日本語ガイドの試験に落
ちて、お母さんに怒られてタイへ出稼ぎに
行っています。左官屋さんです。いろいろな
機会を生かして、積極的に勉強しているので
すね。それがすべて今に生きています。

寄付者名板を留める台の設計図も描いてく
れました。

正面図と側面図が描かれています。寄付者
名板は日本で作成して持参し、式典の日にこ
の台にボルトで留めます。台の上には日本と
カンボジアの国旗とともに円福友の会と長野
県倫理法人会のロゴを入れます。

エ コ 村 支 援

ナチュラル小学校からの便り

(その6： 支援の成果②) 4月号

円福友の会顧問 吉田恒昭

前回では小学校農園の目的と篤農家の農園との連携による自立的・共助的な村の発展について話しました。また前回ではラットさんやドイソクさんのような村の篤農家達の先進的で勤勉な姿と彼らの利他精神の旺盛さを紹介しました。篤農家達は円福友の会が支援した井戸設置をきっかけとして鋭意努力しつつ近隣農村での先進的な農法を真似て試行錯誤しながら効果的な農法を身に付け実践していました。そして、彼らは自ら学んだ農法を



①ラットさん(左)とサロン校長 苗床造り



②ドイソクさん耕作指導 (2019年)

学校農園に赴いて先生と児童に教えるのみならず種や苗木を寄付しているのです写真①②。篤農家の指導によって学校農園の畑もまるで農業試験場のように見事に見えます(写真③)。

農業技術に関しても篤農家が試み実践している工夫が学校農園で伝授されています。例

えば、写真④にある
ペット・ボトルを使っ
た苗の保護は将にこの
土地でコストが殆んど
かからず身の回りにあ
る廃棄物を利用した適
性技術の一つと見做せ
ます。ソファットさん
の説明によれば、この



③農業試験場並みの校農園(2019年)

ボトルによって種や苗を害鳥や害虫からの守
るとともに、強烈な陽射し、ダンレック山脈
から吹き降ろす突風や大雨等からも苗を守れ
るそうです。この使い捨てのペット・ボトル
は中身が無害な液体であることを確かめて、
ボトルの底の部分を切つて苗にかぶせていま
す。篤農家は工夫を凝らした適性耕作指導に
加えて堆肥作り、苗床・育苗の作り方なども
先生や児童達に教えていて、学校農園には不
可欠な指導師範となっています。加えて、篤
農家の間同士でも学校農園での指導を通して

お互いに農法や技能のみならず（写真⑤）、
農具購入や作物のマーケティングなどの情報
交換し合い相互学習し合っている成果も見逃
せません。未だ農業協同組合設立にはとても
至りませんが、その萌芽が学校農園を中核と
してできつつあるのではと感じています。こ
のように篤農家と先生たちが児童達に体験実
習（州の教育委員会から正課として認められ
た）させることの教育的価値はもとより、こ
れらの農法が児童達を通してそれぞれの農家
に普及させつつ、村の相互扶助精神が高まる



④篤農家の適性農法を学校農園で実践



⑤苗床保護

という役割を学校農園が果たしていることも忘れてはならないと思います。

従って、繰り返しますが、円福友の会支援のエコ村学校農園支援事業は、この村での自助・共助（村人の村人による村人のための）を基本とした村落共同体の能力機能強化事業でもあるのです。前回お話ししたようにエコ村は10年前はカンボジア各地から移住してきた言わば鳥合の衆の開拓村だったのです。隣人家族のことを訪ねてもほとんど何も知らないお互いが孤立していたのです。村人に共有の歴史が無くて伝統的な絆がない集団として出発したナチュラル小学校近隣部落は、今や円福友の会支援の井戸を持つ農家が「教え合い学び合う学校農園」を中核として「村人の村人による村人のための」自分たちの主体的能動的な行動が起こりつつあります。この円福友の会の支援は決して大きな規模の支援事業ではありません。井戸支援が起爆剤となり村に共助の輪が広がり、明らかに村人の生

計は向上し、未来に向かって児童たちは明るく笑顔が沢山見られるようになったと思います。

再三触れますが、村の外からの支援の本来の目的は村に住む人々が持っている潜在的な可能性を引き出すことです。潜在的な可能性とはその土地の天然資源（風土）の秘めた力であり、伝統的なコミュニティの絆や文化であり、そして人的能力資源です。人的資源は教育が付与されなければ資源として開花しません。人的資源の可能性を引き出す支援とは釣った魚を住民に配るのではなく、魚の釣り方を支援することです。小学校農園を支援する意味は魚の釣り方を仲間と協力しながら学ぶことで個人と共同体の両方の能力を強化することを意図しています。つまり学校農園は人的資源の可能性（自助）と共同体の持つ潜在的な能力（共助）の可能性の双方を引き出す手段となることを目論んでいるのです。

しかしながら、現実にはエコ村のアチコチ

で生計が保てずに都会の親戚知人を頼って離村を余儀なくされている困難家族も出てきています。その一方では、潜在能力・生来のタレントを駆使して創意工夫のベンチャー・ビジネスで成功を収めている農家家族もいます。例えばユスさん夫婦は収穫したサトウキビをジュースにしてバイク屋台で町に売りに行つて現金収入源としています（写真⑥）。またミアスさんは米から作れる蒸留酒（泡盛）の製造装置を自分で制作して、自宅の納屋で泡盛製造をしているのにはびっくりです（写真⑦）。地元の需要に応えて、500ccの



⑥ユスさんサトウキビ・ジュース屋台

ペット・ボトルに入れて1本1ドル（百円）ぐらいで売っています。ミアスさんの笑顔に彼の泡盛ビジネスが十分成り立っていることを物語っているようです。次号ではナチュラル小学校からの便りの最終回としてソファットさんから届いた驚きのニュース「小学校祭開催」の話題で結びたいと思います。



⑦ミアスさん泡盛製造販売



教育随想

心の教育



長野高校（１）

長野高校に赴任の頃から、書き直します。

昭和五六年の中高交流人事は二年間と決まっていた。（今は三年間です。）異動の時期になって、次にどの高校に赴任しようかと考えました。（当時は「納得人事」といって、教員の希望を聞いてくれました。）ある三年生から僕の高校へ一緒に行ってください、ともいわれました。第二次ベビーブームの子どもたちが高校へ進学する急増期を控えて、長野南高校と田川高校が新設され、新設校で働くことも考えました。妻は家から離れることを希望していました。あれこれ迷っている時に、新卒で赴任した高遠高校で信頼していた上司（当時は校長でした）から電話がかかってきて「あなたの行く場所は長野高校しかない。いろいろな言わないで行きなさい。」と言われました。それで、長野高校へ行くことに決めました。

母校で教鞭をとりたいと希望している人はたくさんいます。でも、空きがなければ行くことはできません。私の場合、たまたまその年に異動する物理の先生が長野高校にいたのでした。

結果として、長野高校へ行つて、本当に良かったと思つています。

当時の長野高校は荒れていました。一学年九学級。当時は四五人学級でその上に校長裁量で各クラス三人ほど受け入れていましたので、一学級は四八人ほどでした。一学年はおよそ四三〇人。大勢でした。

学校の荒れは現役進学率に表れます。当時の長野高校は現役進学率が四割を切っていました。一浪が当たり前でした。今では考えられないことと思います。私が赴任した昭和五八年の現役国公立大学合格者数は五〇人台だったと思います。長野高校は長野県のトップ校です。それが、このようなありさまでした。信じられない状況でした。（櫻ヶ岡中の前に勤めた大町高校で、昭和五六年三月卒の私の学年は、六学級二七〇名でしたが、国公立大学現役合格者数は、確か東京大学一名を含む三七人でした。）

櫻ヶ岡中学の同僚の先生から「長野高校を立て直してくれ。中学から良い生徒を送つても、ダメにしてしまう。」そう頼まれて長野高校に乗り込みました。

長野高校は平成になって校舎を全面改築しましたが、私が赴任した当時は旧校舎でした。すべて私を通つたところと同じです。新任式は講堂でした。約一二〇〇人の生徒が詰まつた講堂で、一七年ぶりに生徒と一緒に校歌（山また山）を歌いました。高校へ入学した時にこの講堂の対面式で聞いた、先輩が歌つた校歌の思い出が蘇りました。窓がびりびり震えるほどの大きな誇らしい声でした。感動で体がしびれました。

次号は当時の長野高校の荒れの様子と私の取り組みを書きます。

敬愛信

新型コロナウイルス

新型コロナウイルスの感染拡大が止まりません。

私も愛育園の誰かが感染したらどうなるだろうと、折にふれて考えています。そうになったら大変です。

上田高校の同窓生有志のメールで東北医科薬科大学病院の賀来教授が作成された「新型コロナウイルス感染症」市民向け感染予防ハンドブック」を紹介してもらいました。ホームページ

からダウンロードできます。

(<http://www.hosp.tohoku-npu.ac.jp/>) 賀来教授は先日、NHKテレビの「いま、あなたの不安は何ですか?」にも出演されていました。第一人者ですね。このハンドブックは、感染予防方法が分かりやすく書いてあり、早速愛育園で取り入れました。

一、咳エチケット(咳は腕で覆いましょう。マスクは正しく使いましょう)
二、手洗いをしましょう。
手洗いのタイミングや方法が具体的に書かれ

ています。

三、環境消毒、換気(愛育園ではドアノブなどよく触れるところの一日二回の消毒と三回の換気を励行することになりました。)
消毒液の作り方も掲載されています。
3月15日付の第二版がアップされています。

お医者さんからメールで送られた資料に次のようにありました。
ウイルスは細菌とは違い「生物」^{いきもの}ではありません。生きていないから殺すことは

不可能です。

子どもたちに話しました。
生きているのと死んでいる
のはどこが違いますか。

答えは、呼吸をすること、
栄養を取り老廃物を出すこ
とです。

ウイルスはこの二つをや
りません。生きた細胞に入
り込んで、細胞の増殖機能
を利用して自己複製して増
えます。だから殺すことは
できないのです。

抗生物質も効きません。
だから唯一自己免疫（ワク
チン）で退治するのです。

専門家会議は三つの重な
り（密閉空間、人混み、飛

沫感染）にならないように
提言しています。冷静に感
染予防に取り組み、感染拡
大を抑えて、終息を待ちま
しょう。そんな気持ちで毎
日を過ごしています。



感謝のお知らせ

(二月二十七日～三月二十五日)

(宮城県)

(千葉県)

(埼玉県)

(神奈川県)

(長野県)

●エコ村支援

(東京都)

(埼玉県)

(長野県)

樣 樣 樣 樣 樣 樣 樣 樣 樣 樣 樣 樣 樣

(宮城県)

(東京都)

(神奈川県)

(長野県)

ご協力ありがとうございました。



樣 樣 樣 樣 樣 樣 樣

四月の法母会

二十六日(日) 午前八時半より

五月の参禅会

三日(日) 午前五時より

『円福』

令和2年4月号

第四七五号

定価 一五〇円

発行日 令和2年4月10日

発行人 藤本光世

発行所 円福友の会

〒388-8005 長野市篠ノ井横田円福寺

TEL 03-2921-0381

FAX 〇三六二九三一九六二九

振替口座

〇〇五二〇一七一六二五六

円福友の会・SABAスクール

愛の日の丸 SABA運動

カンボジア小学校校舎建設

カンボジア エコ村支援

タイ スラム街奨学生支援(教育里親)

大災害被災地支援

シャンティ国際ボランティア会協力

おもいやりの会(愛育園児童自立支援)

太平観音堂護持発展

円福友の会入会のすすめ

上記の協力金は 郵便振替 00520—7—16256

加入者 円福友の会 あてに御送金下さい

〒388-8005 長野市篠ノ井横田 円福寺内

TEL 026-292-0381

FAX 026-293-9629

<http://ryu-enpukuji.com/tomonokai/>

enpuku2@janis.or.jp